# チャレンジ支援ネットワーク検討会報告書 概要

# 女性のチャレンジ支援策について(平成15年4月第10回男女共同参画会議決定)

地域における身近なチャレンジ支援策として チャレンジ支援ネットワーク環境整備」を提言 チャレンジ支援ネットワーク検討会を開催

# 第1部チャレンジ支援ネットワーク形成について 経緯等)

#### 現状

- \* チャレンジしたくても、やりたいことが莫然としていて自分に合うものが分かりにない
- \* たくさんの窓口があってどこにい けばいいか分からない
- \*拠点等での支援が社会活動へ つながっていない

### 課題 アンケー 調査から把握されたこと)

- \* 今後ニーズが高まるのは '就業、キャリア・ アップ、起業、NPO活動等 "
- \*情報やノウハウが不十分
- \*ネットワークのコーディネー | 役等の人材 不足
- \*男女共同参画への理解不足

### 連携状況 (テマと連携先)

・ 商工会議所、中小企業支援センター "まちべい" :NPQ、大学 「子育て"公民館、ファミリー・サポートセンター 等

一人一人のニーズに合ったチャレンジ支援のため、地域の実情に応じて「チャレンジ支援拠点」を形成し、関係機関の ネットワーク化を進め、総合的 効率的な情報提供の体制を整備することが重要

## 第2部ネットワーク構築に向けて健言)

## 取組

# 総合的 体系的な 情報提供

- \* 住民ニーズの高い 支援策 の効率的な情報提供
- \* 拠点はチャレンジのための 出発点。目標が決まったら その次のステップへ橋渡し
- \* 好事例の収集・提供

# 事業実施で連携・ 協力

\* 再就職 起業 NPO ポランティア活動、子育て支援等のテーマで関係機関と共同で支援を実施

# チャレンジ支援ネットワーク(イメージ)



女性のチャレンジ支援関係の機関間の人的・情報ネットワーク化を進め、総合的な情報提供の体制を整備

### 構築における基本的留意事項

個人ではなく組織間同士の相互連携

共通認識を図る

住民ニーズの把握、具体的ニーズに関係機関が柔軟かつ機動的に対応

地域における既存の推進体制の活用・ネットワークと の連携

民間との協働

人材育成等 (コーディネーター・アドバイザリー機能の充実 多様な人材活用)

ネットワーク活動の積極的な広報

#### 期待されること

## 国における役割

- \*国レベルの総合的体系的な情報提供システムを充実
- \*地域での実践としてのモデル事業,人材育成等研修,ノウハウ提供・共有のためのシンポジウム・ワークショップ等実施

## 地方公共団体における役割

\* 地域連絡協議会」の開催、庁内理解の促進、役割の明確化

#### 女性センター・男女共同参画センター等拠点の役割

- \* チャレンジ支援拠点として総合的な機能を活かす
- \* コーディネーター ッアドバイザリー機能の充実 \*住民ニーズの伝達